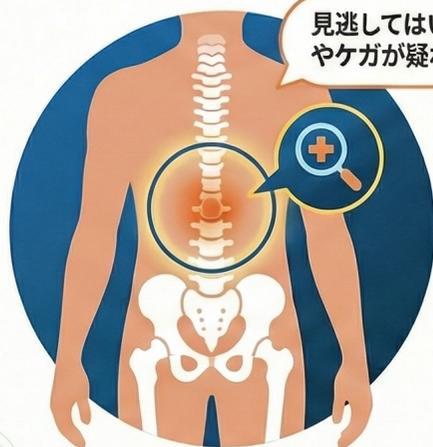


画像検査で、腰痛の原因はわからない？

MRIなどの画像検査は万能ではありません。その役割と限界を正しく理解しましょう。

画像検査が「重要」なとき



見逃してはいけない病気
やケガが疑われる場合



手術など特別な治療が
必要かどうかを見極め
るために役立ちます。1)

全ての腰痛の原因を明らかにする
万能な道具ではありません。

画像は「原因探しの決め手」ではない

画像の変化と痛みは、
必ずしも一致しない²⁾

症状がなくても椎間板に
変性が見られる人の割合²⁾

20代

約4割

80代

ほぼ10割



画像の変化



実際の痛み

腰痛があっても、
画像では原因を特定
できないこともよく
あります。3)



腰痛がなくても、年齢を
重ねると背骨に変化が
見られるのは自然なこと
です。



画像検査は、必要な場面で
「使い分ける」検査

全ての腰痛の原因を明らかにする
万能な道具ではありません。1)

NotebookLM

* 参考文献

1) Low Back Pain Clinical Care Standard. 2022.

2) Brinjikji W, et al. AJNR. 2015.

3) Kasch R, et al. Spine. 2022.

ほか関連文献あり

厚生労働科学研究費補助金（慢性の痛み政策研究事業／山田 [恵] 班）

出典：

松平 浩. 職場における新たな腰痛対策Q&A50.

公益財団法人産業医学振興財団. 2023.

を基に研究班で要約・作成

(初稿作成支援：NotebookLM)



Pain & Workflow
ReDesign